



『活きていく ことわざ』

船橋市議会議員（無所属・4期）

神田廣栄 (かんだひろい) 市議会報告

【事務所】

船橋市前原西 8-24-8

☎ 047-490-3333

Fax 465-7117

Eメール hiroei@muc.

biglobe.ne.jp

ホームページ <http://www.hiroei.jp>

hiroei.jp

無い袖は振れぬ。得手勝手 (えてかって)

【無い袖は振れぬ】 ◇ないものはどうしようもない、ということ。

《解説》 袖がない着物では、袖を振ってみせたくても振ることができない。

《類語》 An empty bag cannot stand up right. (空の袋はまっすぐに立たない)

【得 手 勝 手】 ◇他人の立場や思惑などをいっさい考えずに、自分の都合のよいようにすること。自分本位でわがままなこと。

《類句》 自分勝手。勝手気まま。勝手放題。

市内の小学校・中学校の卒業式が終わり、例年なら満開の桜の中で入学式を迎えるこの時期ですが、今年は開花が早く、葉桜となりそうです。桜木のなかでもソメイヨシノは成長が早いと聞きます。その通り、平成13年に飯山満中学校の生徒と地域の方々と作った、約5000m²の「飯山満木ノ葉の森」に植えたソメイヨシノ、当時は直径5センチ、高さ2~3m位でしたが、現在は直径40~50センチの巨木になって、毎年見事な花を咲かせています。



ここは現在も「飯山満中学校区青少年の環境を良くする市民の会」が主体となり、毎月一回、近隣の町会・自治会の方々と一緒に、草刈りや森の手入れ、広場の花植えをしています。飯山満中学校の北側で、飯山満公民館から徒歩1分の位置にあります。夏は遊歩道の散歩もできますし、是非遊びにおいでください。

さて、新年度予算を審議した第1回定例会が3月28日に閉会となりました。船橋市議会は他市の議会より早く始まり、遅く閉会しています。年間に4回ある定例会すべてそうです。理由はありますが、それを書くと長くなりますので省略します。ただ、他市議会と比較して、質問する議員が多いことも理由のひとつです。今回も議員50人のうち36人が質問しました。私は4項目の質問をする予定でしたが、時間の関係で3項目の質問をしました。今号は、その中の「校舎整備費（トイレ洋式化）」について掲載します。



学校のトイレは「臭い」「汚い」、そして「和式」のために、家庭で「洋式」に慣れ親しんでいる子供達は、しゃがんとする和式に違和感と羞恥心(しゃうしこ)を覚え、学校でトイレを使用できずに家まで我慢しているという話をよく聞きます。

実は私も今回勉強になりましたが、上水と下水・排水の経路は一つの学校に1つだけかと思っていたが、そうではないことが分かりました。学校の大小の差はありますが、大体「系統」が2~3あるそうです。「系統」とは、分かりやすく言えば、トイレで使用する水と排水の経路が2~3あるということです。もっと分かりやすくいうと、例えば、校舎の半分ずつが別の経

路になっているということです。



市内には小学校が54校（139系統）、中学校が27校（87系統）あり、合計で226系統あります。トイレ改修が全ての系統で完了した学校は、小学校5校、中学校2校しかありません。まだ改修していない系統は、小学校で84系統、中学校で53系統あります。そして、全く1系統も改修していない学校が14校もあります。今回は古和釜小学校1校のみの予算です。

今議会では、この件について多くの議員が質問しました。市では、限られた予算だから、まず危険な状態にある、校舎や体育館の壁や防水の補修を優先したんだ。とのことでした。トイレ改修は『無い袖は振れぬ』で済むことでしょうか。

学校によってトイレ改修が既に完了しているところもあれば、全く手付かずのところもある現実に、学校教育は、すべからく公平であるべきだし、差別があってはなりません。そこで、トイレ改修工事の優先順位の決定理由を伺いました。

→ 管理部長の答弁

トイレ改修工事の優先順位につきましては、建築年度の古い学校や、トイレの劣化状況を考慮して改修を行っています。

当然と言えば当然の答弁でした。PTAの方から「市や教育委員会の幹部の人に、未改修のトイレの前の悪臭がする教室に入ってもらい、そこに一日中いてもらったり、給食を食べてもらいたいものだ」と言われていました。



トイレ改修工事費は、1系統あたり5000万円から1億円の費用が必要とのことです。残り全部の系統を改修するには、約100億円が必要とのことでした。その中で3分の1が国庫補助です。実質約70億円で全ての学校のトイレ改修ができます。

市は、平成37年度までには全ての学校で改修工事を完了させる予定のことですが、そんなに悠長なことは言っては、入学した子供が卒業してしまいます。今後の定例会に補正予算を組んで、一刻も早く工事に着手すべきであると強く要望しました。私以外にも多くの議員が同様に「補正予算を組むべし」との大合唱でした。

近いうちに、首都直下や南海トラフの大地震が発生すると言われています。各学校は避難所に指定されています。避難した人たちが一番必要なものは、水とトイレです。衛生上、環境上絶対に洋式トイレは必要となります。松戸市長の英断を強く望みます。



議会では議員全員に公費によりタブレット端末を配布しました。本会議場にいる市長部局、教育委員会幹部などの分も含めると、その費用で1つか2つの学校のトイレ改修ができます。限られた財源は、議会・議員の不要・不急の案件は後回しにしてでも子供達のために使うべきです。来年は4年に一度、議員が市民の皆様の審判を受ける年です。その時ばかり良いこと言ってもだめです。「市民ファースト」は私たち議員の使命です。《議会改革》の名を借りての『得手勝手』な「議会ファースト」は止めなければなりません。

ピカピカの一年生には、きれいで快適なトイレを提供したいと思います。

皆様の「不安を安心に 不満を満足に」します。お困りのことがありましたら、どんなことでも結構です。ご連絡ください。

市民相談室 ☎490-3333 (24時間対応します) またはEメールへ